

国士館はユニークで水準の高い研究機関を有しており、専門分野をより深く多角的に研究することが可能です。産官学の連携を重視し研究交流の場を提供しています。

### イラク古代文化研究所

町田

イラクを中心にユーラシア文化を研究・調査

イラクを中心とするユーラシアの古代文化を解明する目的で1976年に設立。イラク各地の調査を通じて研究成果を上げてきました。1990年以降、「湾岸戦争」「イラク戦争」と報じられる一連の地域紛争のため現地での調査活動は中断していますが、ヨルダン政府の協力を得てユネスコによるイラクの文化遺産環境の復興に貢献しています。さらに、シリア、イラン、サウジアラビア、レバノンでのフィールドワーク、学際的な共同研究や国際交流など、多岐にわたる活動も続けており、これらの成果は、研究所紀要『ラーフィダーン』をはじめ多くの出版物やウェブサイトを通じて発信され、海外の学界でも高い評価を得ています。



### 武道・徳育研究所

世田谷

武道の研究を通じて人間学を実践・普及

日本の伝統文化として今日に継承される武道の研究を通じ、文武不岐の人間学の実践・普及を目的として1978年に設置されました。真の日本人たる「国士」の養成機関として、建学の精神を重んじた研究機関です。日本文化の研究と継承、21世紀における武道の研究、講演会や研究会などの開催、『武徳紀要』『武・徳』『国士研究会』などの出版物の発行を主な活動としています。また、諸外国との交流や国内外における武道の指導をするほか、近年は障害者武道にも積極的に取り組み、世界平和に貢献し得る人材の育成方法を探究しています。



### 防災・救急救助総合研究所

多摩

災害・救急教育、研究を通じて地域の防災の取り組みを支援

未曾有の災害となった2011年3月11日の東日本大震災では、発生直後より本学教職員や学生ボランティアによる医療あるいは復興支援など幅広い支援活動を行い、国士館大学の災害支援機関としての社会的認知度が高まりました。近い将来、首都直下型地震も危惧され、防災への意識が高まりつつある中、2012年に設置された当研究所は国内外における防災・救急救助に関する総合的研究や支援活動をはじめ、防災リーダーの育成や地域と連携した防災活動等を行っています。今後、災害拠点大学の機能をもつ本学の研究所として新しいコンセプトのもと、システムの充実に取り組んでいきます。



### アジア・日本研究センター

町田

アジア地域の問題を究明し相互理解と共生を目指す

激動するアジアの社会的・文化的現象を学術的に究明し、開かれた研究交流の場を提供すべく2000年に設置された機関です。研究会やワークショップ、シンポジウムなどを開催することで、研究環境の活性化と有機的な研究者ネットワークの構築を目指しています。研究活動の成果は、ホームページ、紀要や出版物などの情報発信によって社会的に還元しています。国際的な学術交流を推進するとともに、アジア地域の相互理解と平和の共生に向けた啓蒙活動や政策提言などへと活動を発展させていくことを目標としています。



### ウェルネス・リサーチセンター

多摩

健康増進を図るための総合的な研究活動を実施

一般市民のウェルネス(広義の健康)の確立を目指して2004年に設置されました。高齢者の運動習慣養成プログラムの開発や救急医療研究、各種スポーツ・トレーニング効果の分析など、健康増進に関わる総合的な研究活動を行っています。これらの研究で得られたデータは、高齢者向けスポーツや介護機器の開発、教育方法の開発、指導者および運営者の育成などに役立てられています。また、地域と連携し、スポーツイベントのサポートや小中学生を対象としたキャンプスクール等の野外教育プログラム、健康セミナーも開催しています。

